

株主通信

第96期〈年間〉

(2012年4月1日～2013年3月31日)

株主の皆さまへ



代表取締役
社長執行役員
西村元延

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第10次中期3ヵ年経営計画の2年度にあたる第96期(平成25年3月期)も、初年度に引き続き、同経営計画の目標であるグループ事業の成長の加速に向け、事業規模拡大に取り組み、「アジアでグローバルな経営を強みとするオンリーワン・カンパニー」を目指し、マンダムグループ一丸となって取り組んでまいりました。

第96期の業績および事業推進の概況について、ご報告申し上げますので、ご高覧ください。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成25年6月

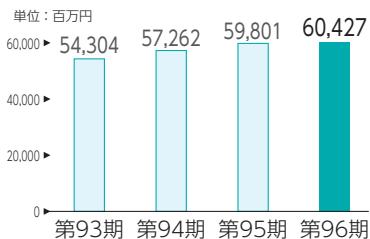
業績の概況

財務ハイライト

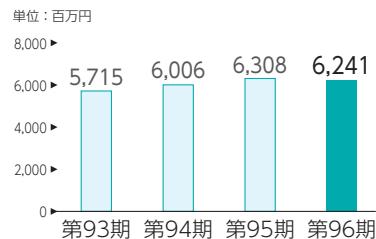
区 分	第93期 平成22年3月期	第94期 平成23年3月期	第95期 平成24年3月期	第96期 平成25年3月期
売上高 (百万円)	54,304	57,262	59,801	60,427
経常利益 (百万円)	5,715	6,006	6,308	6,241
当期純利益 (百万円)	2,802	2,672	3,299	3,607
1株当たり当期純利益 (円)	119.40	114.30	141.11	154.29
総資産 (百万円)	54,182	53,328	55,600	60,163
純資産 (百万円)	45,058	45,291	47,082	51,037
1株当たり純資産額 (円)	1,774.64	1,785.56	1,861.01	2,011.09

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均の発行済株式数により算出しています。

■ 売上高



■ 経常利益



■ 当期純利益



■ 1株当たり当期純利益



■ 総資産／純資産



■ 1株当たり純資産額



第96期（平成25年3月期）業績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や昨年12月の政権交代による経済政策への期待感を背景に景気回復基調がみられつつあるものの、欧州の景気停滞による世界経済の減速等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。一方、当社海外グループの事業エリアであるアジア経済は、欧州債務問題の長期化を受け全般的に減速気味であるものの、総じて堅調に推移しました。

このような経済状況のもと、当社グループは持続的な成長の実現に向け、「コア事業である男性グルーミング事業の安定成長」「女性コスメティック事業の展開強化」「アジアを成長エンジンとした海外事業の継続強化」に取り組みました。

売上高は、前期より6億25百万円増加し、604億27百万円（前期比1.0%増）となり、3期連続で過去最高売上高を更新しました。国内での売上はコア・ブランド

「ギャツビー」における第2四半期までの夏シーズン品の低迷により減少したものの、海外での売上は男性グルーミング事業（主にギャツビー）の好調な推移により、国内の減収分を上回る増加となりました。

利益面におきましては、国内でマーケティング費用（販売促進費・広告宣伝費）の効率的投下につとめたものの、海外ではインドネシアをはじめ各国でマーケティング費用（販売促進費）を積極的に投下したこと等から、営業利益は、前期より1億2百万円減少し、59億47百万円（前期比1.7%減）となり、経常利益も、前期より66百万円減少し、62億41百万円（前期比1.1%減）となりましたが、特別損失の減少や国内における法人税の減税等により、当期純利益は、前期より3億8百万円増加し、36億7百万円（前期比9.3%増）となり、過去最高利益を更新しました。

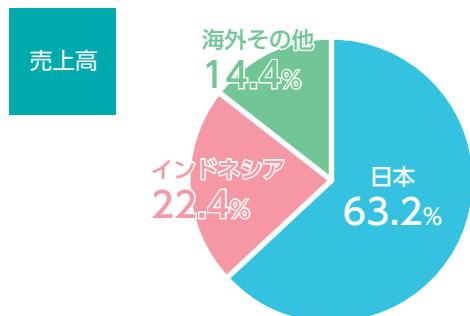
セグメントの業績は、次のとおりです。（売上高は外部顧客への売上高を記載しています。）

（セグメント別の概況）

（単位：百万円）

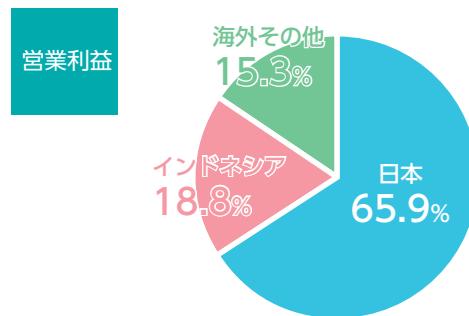
所在地別業績	売上高			営業利益		
	前期	当期	増減率	前期	当期	増減率
日本	38,940	38,208	△1.9%	3,805	3,921	3.0%
インドネシア	13,457	13,510	0.4%	1,432	1,117	△21.9%
海外その他	7,403	8,708	17.6%	812	908	11.8%

業績の概況



日本における売上高は、382億8百万円（前期比1.9%減）となりました。これは主として、コア・ブランド「ギャツビー」において、スタイリング剤が堅調に推移したものの、天候要因等による夏シーズン品（主にペーパー商品）の減収分をカバーしきれなかったことによるものです。利益面においては、マーケティング費用（販売促進費・広告宣伝費）の効率的投下につとめた結果、営業利益は39億21百万円（前期比3.0%増）となりました。

インドネシアにおける売上高は、135億10百万円（前期比0.4%増）となりました。これは主として、インドネシア国内での男性グルーミング事業（主にギャツビー）が堅調に推移したものの、現地通貨安にともなう円換算額の減少があったことによるものです。利益面においては、



積極的なマーケティング費用（販売促進費）の投下にもなう販売費の大幅増加により、営業利益は11億17百万円（前期比21.9%減）となりました。

海外その他における売上高は、87億8百万円（前期比17.6%増）となりました。これは主として、主力ブランド「ギャツビー」が好調に推移し、一部の地域を除き現地通貨ベースで二桁増収と順調に成長したことによるものです。利益面においては、現地通貨安にともない原価率が上昇したものの、増収効果により好調に推移したことから、営業利益は9億8百万円（前期比11.8%増）となりました。

事業推進の概況

当社は、現在推進している第10次中期3か年経営計画(MP-10)を、「グループ事業の成長を加速させるための中期3か年経営計画」として位置づけ、収益性の向上や安定的かつ高水準な株主還元の実施に配慮しつつ、売上規模の拡大を目指しています。

このMP-10においては、「コア事業である男性グルーミング事業の安定成長」「女性コスメティック事業の展開強化」「アジアを成長エンジンとした海外事業の継続強化」の3つを戦略テーマとして掲げています。

以下3つの事業の推進状況についてご報告します。

男性グルーミング事業

ヘアスタイリング剤やスキンケア商品など、男性の日常の身だしなみやおしゃれ全般に使用する商品群を展開。主要ブランドは「ギャツビー」「ルシード」。

安定成長を図り、男性化粧品市場でのカテゴリーシェアの維持・拡大を目指す。

売上高伸長率

前期比 **0.2%減**

男性グルーミング事業の連結売上高は、海外は好調に推移したものの、国内は男性フェイス&ボディカテゴリーの夏シーズン品が天候不順や競合激化の影響により伸び悩み、前期比0.2%の減収となりました。

ギャツビー

国内では、「アブラ」「ニキビ」「肌荒れ」の男の3大肌トラブルに対応したフェイスケアシリーズと、デオドラント製品に



リニューアルしたフェイスケアシリーズと
バイオコアデオドラントシリーズ

最も求められるニオイ予防の効果の高さに対応した**バイオコアデオドラントシリーズ**をリニューアルするなど、商品ラインナップを強化するとともに、**松田翔太さんを起用した洗顔・ボディペーパーのTVCMの投下**に合わせた店頭展開を行なうなど、近年成長するフェイス&ボディ市場に対応した取り組みを行ないました。



松田翔太さん扮する「オサレ星人」の洗顔TVCM

海外では、各国においてムービングラバーの展開強化、インドネシアにおいて主力商品であるウォーターグロスをリニューアルするなどスタイリングカテゴリーの売上拡大を図りました。また、TVCM投下や積極的な店頭展開により、洗顔シリーズなどのスキンケアカテゴリーの強化を図りました。

ルシード

将来有望なミドル市場の育成に向け、スキンケアカテゴリーにおいて商品ラインナップを強化するとともに、エイジングケアの啓発に取り組みました。

事業推進の概況

女性コスメティック事業

スキンケアやメイクアップなど、女性のビューティライフに彩りを添える商品群を展開。
主要ブランドは「ビフェスタ」「ピクシー」。

スキンケアを中核に、展開各国市場に適應した商品ラインナップによる展開の強化・育成を目指す。

売上高伸長率

前期比 **6.2%増**

女性コスメティック事業の連結売上高は、国内が好調に推移するとともに、海外も為替のマイナス影響があったものの増収となったことにより、前期比6.2%の増収となりました。

マンダムビューティ

国内では、「ビフェスタ」のうる落ち水クレンジングシリーズを中心に、店頭におけるプロモーションの展開強化やTVCMを投下するなど、認知拡大を図るとともに、**商品ラインナップ**

を強化するなど、ブランド育成に取り組みました。

海外では、「ビフェスタ」の展開エリアを拡大し、NIESエリアやASEANエリアにおいて**プロモーション展開を強化**するなど、認知拡大を図りました。



ビフェスタ うる落ち水クレンジングクレンジングウォッシュを発売



タイにおいて、クレンジングカテゴリートップシェアを獲得

ピクシー

インドネシアでは、主力商品である**2ウェイケーキの全面リニューアル**を行なうなど、商品力を強化するとともに、ブランドイメージの鮮度アップを図りました。

2ウェイケーキのリニューアルに合わせプロモーションを強化



海外事業

引き続きグループ経営の成長エンジンとして位置づけ、戦略展開してきた累積効果を活かし、各国の市場環境に適應した展開で強化。

重点エリア(INDONESIA、CHINA)での積極展開により、アジア市場の深耕を図り、グループの成長性向上を目指す。

売上高伸長率

前期比 **6.5%増**

前期レート換算比 **10.4%増**

海外事業の連結売上高は、展開各国において一部地域を除き、現地通貨建てでは概ね二桁成長と好調に推移したものの、為替のマイナス影響により、前期比6.5%の増収にとどまりました。

INDONESIA

経済成長や人口増加が著しいインドネシアでは、購買力向上にともない拡大するモダンマーケット（近代市場）に対して商品展開やマーケティング活動を継続強化しました。

IR Information、配当に関して

また、新規市場に参入するなど、新たな取り組みも行ないました。



人気キャラクターのアンブリーバードをデザインに使用した、子ども用の化粧品シリーズ
※「ANGRY BIRDS」はROVIO ENTERTAINMENT LTD.の商標または登録商標です。

CHINA

ヘアスタイリングカテゴリーでは、エリアおよびチャネルの拡大への取り組みを強化し、女性スキンケアカテゴリーや男性フェイス&ボディカテゴリーでは、それぞれに適合したチャネルを選択し展開の集中化を図りました。

その他のエリア

インドでは、本格的なマーケティング活動に向けて流通網の整備拡大に取り組みました。

インドチャイナでは、ベトナム、ミャンマー、カンボジアでの流通網の整備拡大とTVCM投下やサンプリングによるブランドや商品の認知拡大に取り組みました。



ミャンマーで投下したギャツビーウォーターグロスのTVCM

配当に関して

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策として位置付け、中長期的な事業拡大、新規事業開拓及び企業リスク対応のための内部留保に配慮しつつ、配当金による株主還元を優先的に実施することを基本方針としており、連結ベースでの配当性向40%以上の継続を目標としましてまいります。

IR Information

マンダムおよび海外子会社（インドネシア）における設備投資の実施について

当社および当社の連結子会社であるPT MANDOM INDONESIA Tbkは、日本およびインドネシアにおいて設備投資を実施することを決定しました。これにより、近年の生産数量の増加にともなう生産能力の増強に加え、グループの各工場におけるシナジーを発揮し効率的に生産・供給できる体制づくりを目指します。投資額はそれぞれ約35億円、約37億円です。

日本においては、市場におけるニーズ&ウォンツの変化やアジア各国の生活水準の向上にともなう日本製品への需要の増加等に対応し、生産能力を増強します。また、グループのマザーファクトリーとして高品質な製品づくりや生産技術革新が継続でき、グループの生産拠点に対して技術革新支援ができる工場を目指します。

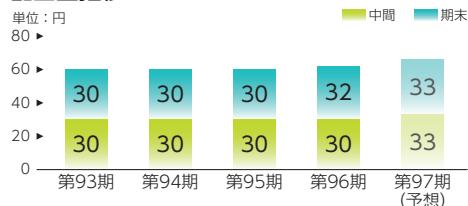
インドネシアにおいては、インドネシア国内および海外における需要拡大に対応し、生産能力を増強します。また、アジア全体への製品の供給を見据えた生産センターとして、より高品質で低価格の製品を生産できる工場を目指します。

完成時期については、日本は2013年12月、インドネシアは2014年12月を予定しています。

なお、当社グループは、日本とインドネシア（2工場）および中国国内向け生産を担う中国を加えた4工場から、グループ全体に効率的に生産・供給できる体制をとっています。

配当金推移

単位：円



株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 (そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数	100株
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	(フリーダイヤル) 0120-782-031
ホームページ アドレス	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 < http://www.mandom.co.jp/ > ただし、事故その他のやむを得ない事由の場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主優待	毎年3月31日現在の100株以上ご所有の株主さまに対し、5,000円相当の当社商品を6月初旬に贈呈します。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

【特別口座について】

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記の株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社の電話照会先にお問い合わせください。



「マンドムIRメール配信サービス」 開始のお知らせ

当社は、IR関連の最新情報を中心とした開示情報を、タイムリーにメールでお知らせする「マンドムIRメール配信サービス」を開始いたしました。
このサービスは、当社ウェブサイトからの会員登録によりご利用いただけます。

▼会員登録はこちらから

<http://www.mandom.co.jp/>

企業情報



お問い合わせ先

株式会社マンドム 広報IR室
〒540-8530 大阪市中央区十二軒町5番12号
TEL：06-6767-5020
FAX：06-6767-5043



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。